

No.31

2010年

(平成22年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院
同窓会

— 発行 者 —

同窓会会長 高橋 里子

平成22年 8月

岡山市北区祇園866

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

同窓生の皆様方には益々お元気でご活躍のことと拝察いたします。日頃からは、本学院の教育推進につきましても大きなお力添えをいただいております。ことに心よりお礼申し上げます。今年度は二八三名の新入生を迎え、全学生五七〇名でスタートし、勉学、実習に励み、それぞれの目標に向かって努力しております。

昨年度から児童福祉科、第一看護科、第二看護科、介護福祉科(昼間)、福祉研究科、精神保健福祉科の六科となりました。今年度の入学生も上級生共々、それぞれの目標に向かって努力いたしております。各科とも初めの実習を旭川荘内で体験し、人間的成長が少しずつ見られはじめております。

今年から旭川キャンパスは社会福祉法人旭川荘・旭川荘厚生専門学院から学校法人に変わりました。すなわち、学校法人旭川荘・旭川荘厚生専門学院となったことをご理解ください。

これは将来、看護科を四年生の大卒として、カリキュラム等が変更されていく過程で、三年では対応できなくなってきたこともあり、看護学という一つの学問分野として確



学院長 藤田 哲輔

旭川キャンパスは学校法人へ

立し、養成校の三年間では質の高度化と時間数の増大からきていることに起因していると思っております。近い将来、看護科については大学にしたいと検討をかかされているところですが、他の学科についても順次変更していくことも考えられます。

学校法人旭川荘の理事長は江草安彦先生が就任され、旭川荘厚生専門学院(旭川キャンパス)と旭川荘療育アカデミー(毎週土曜日だけの学校で幼・小・中・高の先生、施設職員が発達障害等について一年間学ぶ学校)の二校になりました。

このように、社会福祉法人(吉祥川キャンパス)と学校法人(旭川キャンパス)に区分けされましたが、旭川荘共同団体として今までどおりに一体となつて進化していくことは間違いのないことです。

このように学院も変化の激しい時代を乗り切っていくべく前進しております。

現在の学院の状況をご報告させていただきます。

今後の本学院のより発展に向けて、同窓生の皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



同窓会長 高橋 里子

同窓生のみなさま
お元気ですか

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

母校が昭和四十六年に開校して、同窓生八千人を超え、一周年である私達は還暦を迎える年齢となりました。看護師になつて三十八年、旭川荘厚生専門学院で学んだことが良

物と感謝いたします。従来通り会員皆様の指導、ご助言を頂きながら微力ではありますが旭川荘厚生専門学院・同窓会の発展に尽力してまいります。

平成20年にチボリ公園で岡山支部・平部総会が盛大に行われ、多数の方の参加を頂きました。僅かな時間で学生時代にタイムスリップして、実習中の出来事や



同窓会副会長 中尾 絹江

会長の任務をバトンタッチして
ありがとうございました

卒業生の皆様お元気ですか？会長を引き受けて二十二年間、会員の方々、役員の方々と共に学院の先生方には多大なるご協力を頂き有難うございました。

支部会結成に向け、顧問であった長安一郎先生、故二宮稔先生、岡本克敏先生のお力添えは、大きな前進となり、会員名簿も二回の発行を遂げることができました。

今や社会情勢の変化に伴い、同窓会へのニーズも以前とは違ってきています。

まず、学院開設当初の私達とは、学生の生活も変わり、個人情報云々で会員を繋ぐ名簿さえ発行が難しくなりました。このような状況下ですが、今後新会長である高橋里子さんとともに、支部会を含めて、継続していくように尽力したいと考えています。

会員の皆様の御健康と母校の益々の発展を願って、ありがとうございました。

また、そして今後とも同窓会をご支援のほどお願い申し上げます。

第23回 同窓会総会のご案内

日時 平成22年11月20日(土)
11:00~11:30 総会
11:30~14:00 懇親会
場所 旭川荘厚生専門学院 食堂
会費 2,000円

出席可能な場合は11月5日(金)までに、卒業学科・卒業期・氏名(旧姓も記入)・現住所をFAXまたはE-mailでお知らせください。

FAX (086) 275-3283

E-mail g-dousoukai@asahigawasou.or.jp
学院同窓会担当まで

第22回同窓会総会の様子

吉井川キャンパスより

介護福祉科(昼間)

卒業生の皆さんお元気ですか？介護福祉科がスタートしてから二十二年目になり、今年の四月には二十三期生を迎えました。

昨年度から始まった介護雇用対策や介護需要の増加により、社会人学生がクラスの半数を占め、以前とはずいぶん状況が変わっています。また、男女比も約一対一で年齢にも幅があります。これまでにない活気がみられます。

色々と話題になる福祉業界ですが、輝いた目の在校生と一緒に、介護福祉科は心で明るく安心できる場所でありたいと願っています。



介護福祉科(夜間)

介護福祉科夜間課程は、カリキュラム変更に伴い、平成二十二年三月三十一日をもって閉科となりました。いつまでも介護福祉科夜間課程は、永遠に不滅です！

(卒業生からのコメント)

一期生 清原美野子(旧姓 安藤)
卒業してから早いもので六年が経ちました。一期生として学んだ夜間課程が閉科となってしまいました。寂しいですね。私は吉井川キャンパス内の有料老人ホームで元気に働いています。皆さんのがんばっている情報を聞くと、「私もがんばらないと駄目になります。同窓会等で皆さんに会えるのを楽しみにしています。」

二期生 佐藤 哲也

私は現在、特別養護老人ホームで働いています。五月に結婚し、新婚旅行後久しぶりに出勤した際、利用者の方々から「あなたに来るのをずっと待っていたよ」といってくださった。自分の存在を待っていてくれる方がいることに、とても嬉しく、改めて福祉の仕事を選んでよかったと思いました。また、その中でやりがいや喜びを実感しています。今後私の原点である学院で学んだことを日々の糧にして、利用者の方々と笑顔があふれる毎日を過ごしていきたいと思っています。

三期生 柴岡 智広

卒業して四年が過ぎましたが、皆様頑張っています。私は現在、西大寺にある施設で働いています。そのため学生の頃とあまり環境が変わらない様に思いますが、学院からの実習・就職などで後輩と関わる機会が多くなり、自分への刺激となっています。学生時代に学んだ事を基本に現場に活かしていきたいです。

四期生 藤井 健司

学院を卒業し、就職してから二年がたちましたが、皆さんは元気でやっていますか。私は仕事にも少し慣れてきました。まだまだ自分から少ないことも多く、毎日が勉強で少しづつでも成長していければと思っています。昨年は腰を痛めて大変でした。皆さんも気を付けてください。またお会いできるのを楽しみにしています。

五期生 吉田 夕夏

地元、長崎に帰ってきて二回目の夏が来ました。私は現在、実家から近い所にある老健で働いています。この仕事に就いたのは時期もありましたが、人としての笑顔に支えられ、今でも頑張っています。就職して一年経った今、新しい仕事をするのが増えてきました。これから人としての思いやり、笑顔忘れずに介護福祉士を目指して頑張ります。

六期生 大橋 慶子

学院を卒業し、特別養護老人ホームに勤務して三ヶ月がたちました。毎日業務をこなすのに一杯で、ミスをしては反省の日々を送っています。そんな中でも、多くの先輩職員に支えられ頑張っています。今後もっと経験を積み、利用者様に信頼される介護職員になりたいです。

福祉研究科

本年四月、平成生まれの新生入生を含む十名の学生、第十六期生を迎えました。昨年度、本年度共に学生数十名と、若干小振りですが、一人ひとりのパワーと能力は卒業生の皆さんに負けてはいません。在校生は、夏休みも一週間と短いスケジュールの中、実習に授業に頑張っています。実習に行つた際にはよろしくお願ひします。

また、本年も学院主催の研修会を開催します。気軽に参加してくださいね。お待ちしております。



卒業生より

十三期生 佐藤 由依

特別養護老人ホームに就職して三年目。素敵な笑顔に囲まれて、足取りも軽くなり生活が通っています。利用者様と日々生活を共にする中で「ありがとう」と感謝の想いを一つでも多く伝えていけるようケアに努め、また一緒に幸せを築き続けていく真っ最中ですよ。

いつまでも学生の頃のような新鮮な気持ちを持ち続け、これからも自分らしく頑張っていきたいです。

◆お知らせ◆

- 「新人・中堅職員研修会」を開催します。対象者には案内状を送付します。
- 新人職員研修会(卒後1~2年)
平成22年9月18日(出)
 - 中堅職員研修会(卒後3~7年)
□平成22年11月27日(出)
□平成23年1月15日(出)
□平成23年2月5日(出)
 - 会場：研修センターよし川

精神保健福祉科

卒業生の皆さんお元気ですか？各所で活躍のことと思います。昨年度は八期生十八名が卒業しています。昨年度は、授業のカリキュラムが一部変更になった年で、教科目も授業時間も増え、厳しい時間割になりました。しかし、のんびりやの八期生は、教員の心配をよそに、体育大会・学院祭など十分に楽しみながら、学院生活を送り、国家試験も乗りこえ、卒業してゆきました。

国家試験は、卒業生の皆さんの積み重ねと西大寺観音院の利益で！全国平均六〇%を大きく上回る九〇%以上の合格率を継続しています。今年は、九期生二十五名が勉学に励んでいます。焦りと不安の中で実習に赴くであろう九期生を温かくご指導ください。先輩となった皆さん方に実習指導をお願いできることを心強く思っています。

秋のP科合同交流会で、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



卒業生より

六期生 山口 由美子

早いもので、学院を卒業して二年が過ぎました。この二年間は、私にとつてかつてないくらい、中身の濃い充実した日々となりました。現在私は、救護施設浦安荘で精神障害者の生活支援員をしています。

図書館

細川夕子(旭川キャンパス)
田口 恭子(旭川キャンパス)
近藤 陽子(吉井川キャンパス)

児童福祉科

江田加代子

看護科

清水 留美
香山 裕子
佐古 和子
岸本 舞美

☆荘内異動された先生

入試事務室
藤岡久美子(旭川荘事務局)

児童福祉科
平尾 太亮(旭川児童院)

介護福祉科
池田 明子(旭川敬老園)

看護科
岡本 禮子(旭川児童院 (日二・六退職))

生活という幅広い対人援助のため、ここからここまでという枠もなければ、当然の事ながらマニュアルもありません。いかにその人を知り、その人にとってより良い支援とは何かを模索しながら、日々メンバーさんと生活しています。

就職してすぐ担当を持ち、今は7人の担当を持っています。こんな新人に、と戸惑う事も多々ありましたが、上司・先輩共に良い意味で放任であり、自由にさせてくれるので責任感も増し、遣り甲斐も非常に感じています。もちろん困ったときにはアドバイスもくれます。良い支援には良い職場環境は欠かせないとしみじみ感じています。

今年度から、家族会の事務局という新しい役割をいただきました。また新たに一つ一つの勉強しながら、自分自身を向上させていけたらと思っています。



岡山支部だより

岡山支部副支部長
福田美智子

保育科八期卒の福田と申します。非力ながら岡山支部会のお手伝いをさせて頂いておられます。当時の事をなかなか思い出せない位、卒業してから時間が経ちました。皆さんお元気な様子を伺っています。縦と横の繋がりを待つ事が難しい今日ですが、せめて同窓生、同じ学舎にいた者同志の縁(えにし)は大事にしたいと思っております。昔の面影も少なくなってきた学院で開催される総会です。是非、ひとりでも多くの方の参加をお待ちしております。

関西支部だより

関西支部副支部長
大森奈保子

先輩方のおとを追い

五月二十三日(日)第八回関西支部同窓会がホテルコンソルトで開催されました。看護科、保育科あわせて約二十名の参加がありました。看護科の一期生の先輩は還暦を迎えられたそうです。寮生活やアルバイト、テストや実習での苦労話を昨日のことのように楽しそうに話してくださいました。フルタイム、パートでの職場の話、趣味の話、家庭に入られたかたは、家族やボランティアの話、それぞれ近況を聞かせていただきました。我々が母校のためまぐるしく変化し

ていく近況も聞かせていただきました。それぞれが、それぞれの場所が、それぞれおられる姿は、たくましく、美しく、同じ学び舎で泣いて笑った絆を感じ、元気をもらって帰りました。年々、同窓会の参加者が減っているのは否めない事実です。しかし、継続は力なり継続は愛なりと申しします。条件の許す限り継続し、私たちの帰る場所を確保し、後輩のために先輩方の熱い思いを受け継いでいかなければならないと感じました。十一月二十日(土)十一時~十四時学院で本部総会が開催されます。岡山にいる同期の方にも会いたい。声をかけて、一人でも多くの笑顔となつたかしの再会をはたせたらと思っています。連絡を取りたくても、住所不明の方が多いのが現状です。所在さえわかっていれば、同窓会のお知らせを送ることが出来ます。そして、いつの日かでも再会が可能となります。交流のある友人を誘って同窓会に参加したり、所在を学院へ連絡してみてください。忙しい毎日だと思えます。しかし、歳をおうごとに青春時代が懐かしく思え、その時をともに過ごした仲間や叱ってくれた先生の笑顔に会いたくなってくるものです。



関西支部同窓会にて

入試事務室より

オープンキャンパス

平成22年9月11日(土) 9:30~12:00

入試日程

推薦入試 平成22年10月15日(金)

一般1次 平成23年 1月28日(金)

一般2次 平成23年 3月 5日(土)

一般3次 平成23年 3月23日(水)

※推薦・一般1次入試はアークホテル岡山にて行います。

※一般2次・3次入試は旭川キャンパスにて行います。

入試事務室 TEL(086) 275-6846

E-mail nyuusisitu@asahigawasou.or.jp

広島支部だより

広島支部監事 土居八重子

同窓会の皆様、学院の先生方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。先般、五月二十三日、第八回関西支部同窓会へ広島支部長代理として参加させて頂きました。関西支部役員様にはお世話になりました。九月十一日広島ガーデンパレスにおいて開催する予定にしております。十一月二十日に学院内の本部総会終了後に広島支部役員会を開きたいと考えておりますので、役員の方は是非参加出席をお願いいたします。多数の同窓会役員の出席を希望しております。後日、広島支部同窓会開催についてご連絡を同窓会会員様にお願いいたします。

同窓会員数

平成22年3月現在(平成21年・平成22年の卒業生)

同窓生総数	8507名	(476名)
保育科・児童福祉科	1523名	(43名)
福祉情報科・医療福祉秘書科	330名	(9名)
第1看護科	2515名	(167名)
第2看護科	2129名	(85名)
福祉科・介護福祉科	1531名	(115名)
福祉研究科	281名	(24名)
精神保健福祉科	198名	(33名)

★主な年間行事★

☆キャンドルサービス

(平成二十二年十月六日)

☆戴帽式

(平成二十二年十月八日)

☆学院祭

(平成二十二年十月二十日)

☆卒業演奏会

(平成二十二年二月下旬)

☆卒業証書授与式

(平成二十二年三月十日)

実施日については、変更となる場合があります。

■おことわり■

発送の間違いを防ぐため、住所、氏名の漢字は新書体とさせていただきます。ご了承ください。